

## 令和7年度第2回倉吉市地域公共交通会議 会議録（要旨）

（日時） 令和7年5月27日（火）13時30分～14時30分

（場所） 倉吉市役所本庁舎 3階 第2会議室

（出欠） 会長、副会長、委員14名（欠席委員4名）、随行者1名、事務局4名

### = 次第 =

1 開会

2 挨拶

3 協議事項

（1）関金乗合タクシーのサービス内容見直し（案）について【承認】

（2）グリーンスローモビリティの提供のための日ノ丸ハイヤー(株)による

自家用自動車有償運送許可申請書（案）について【承認】

4 閉会

### 《主な意見等》

#### 2 挨拶

（会長）

- 今回の会議の主な目的の一つは、グリーンスローモビリティの運行に向けて、前回の会議で審議した日ノ丸ハイヤー(株)の事業変更計画等を踏まえ、今回、ライドシェアの活用に必要な申請手続きに関する審議を行う。
- 2つ目は、昨年度から実証運行中の関金乗合タクシーに関し、サービス内容や運賃の見直しを行うための審議となる。
- 両案件とも市民生活に重要な交通手段であることから、委員各位の慎重審議をお願いします。

#### 3 協議事項

（1）関金乗合タクシーのサービス見直し（案）について

（事務局）

- 資料に基づき説明。
- 関金の事業について、国の「交通空白」解消緊急対策事業に応募した結果、本年4月28日に事業採択となった。なお、事業採択は全国で200件。手厚い支援を受けて事業を進める。
- 今年度の事業概要としては、関金地区で実証実験を継続しつつ、来年4月からの本格運行に向けて、公共ライドシェアの導入準備を進める。
- 加えて、北谷、高城地区への横展開を図るために、住民アンケート等でニーズを把握し、次年度の実証運運行に向けて検討を進める。
- 関金乗合タクシーに関し、3月に乗降場所の増設と予約時間の短縮を行う見直しを行ったが、7月1日から乗降場所をフリーとし、運賃も利用しやすい体系に変更して利用状況の把握を行う。

- 運賃案について、利用者の声等を踏まえ、定額プランの減額、家族割を廃止してファミリープランを新設、1乗車運賃の新設、回数券の発行を実施する。
- 更に、1世帯1名に限っての無料乗車キャンペーンを実施し、お試して乗ってみてもらう。
- これまでの利用状況としては、本年3月の見直しに伴い、登録者数、平日・休日の平均利用者数に大きな変化はないが、1Dayは4月から増加、ユニークユーザーも増加傾向となっている。一般利用者の平均利用回数は3月以降減少となっている。
- なお、3月31日までの適用期間の延長は、実証運行終了から本格運行までの間の移動手段を維持するために設定するもの。

= 質疑応答 =

(板倉会長)

- 家族割を廃止し、ファミリープランを新設するが、ファミリーの定義は「世帯」で判定するというのでよいか。

⇒ (事務局) お見込みのとおり。

(日ノ丸自動車(株) 徳丸委員)

- フリー乗降にするとあるが、場所によってはかなり狭隘な道路もあると思うが、乗合タクシーはどこまでも入っていくのか。

⇒ (事務局) 基本的には行けるところまで行くイメージで進める。

(鳥取運輸支局 福原委員)

- 今回のサービス見直しに関する周知方法は、今後、どのように実施しようと考えているか。

⇒ (事務局) 市報、チラシの配布をはじめ、防災行政無線による広報を行う予定。なお、関金庁舎に専属のオペレーターも設置しているので、問い合わせにも丁寧に対応していく。

= 承認 =

※運賃については、本会議終了後に開催される運賃協議分科会で協議する。

## (2) グリーンスローモビリティの提供のための日ノ丸ハイヤー(株)による自家用自動車有償運送許可申請書(案)について

(事務局)

- 資料に基づき説明。
- 前回の会議では、日ノ丸ハイヤーから提出された変更認可申請書の事業計画の変更について協議を行った。主な内容は、乗合タクシーの営業区域として新たに打吹エリアの追加、7月2日からの運行開始。
- タクシー会社のドライバー不足の状況もあり、住民ドライバーを活用し、日ノ丸ハイヤー管理のもと、グリスロを運行するという計画。以上の内容について承認いただいたのが前回のなかれ。
- 現時点で住民ドライバー7名を確保しており、1か月約300人(延べ)の利用者数を見込んでいる。
- 今回の住民ドライバーは、成徳地区または明倫地区にお住まいの方に御協力いただく。特に観光客や、顔見知りの地域住民の方に地域のPRをしてもらうことも含め、地域の住民の方に協力していただいている。

- すでに面接を終え、雇用契約についても明日までに締結される。宣誓書も作成済み。
- 協議が調っていることの証明書案「2」について、ライドシェアの制度を活用するが、この制度が使えるのは過疎地域を域内に含む市町村が条件となる。倉吉は関金地区が過疎地域となる。条件は調っているということで書類をつけさせていただく。7月から日ノ丸ハイヤー運行のもと、実施していきたい。
- 協議が調った折には、明日から日ノ丸ハイヤーと住民ドライバーが試験運行を始める。試験運行中は無料で実施。位置情報の確認方法や乗り方などを体験していただき、本格運行に向けた準備を進めていく。
- スタートできれば、新たな制度を活用したものとしては全国で初めてのケース。旧ケース含めると全国で2例目となる。

= 質疑応答 =

(倉吉観光 MICE 協会 木口委員)

- 運行状況を「ここいこマップ」で見られるようになるのは7月2日からか。  
⇒ (事務局) 鳥取中部観光推進機構がデジタルマップとして「ここいこマップ」を整備している。グリスロが今どこを走っていて、何人乗っているかを見ることができる。きちんとした運用は7月2日からだが、試験運行中もドライバーに操作を試してもらうため、システムは動かす予定。

(鳥取運輸支局 福原委員)

- 過疎地域における自家用車を活用したグリスロ運行ということで、新制度では全国で初めての取組。なおかつ住民の生活の移動手段・観光の移動手段を兼ね備えている運行ということで、かなり先進的な移動手段の確保の取組と認識している。運輸局で SNS を運用しているので、運行開始になったら運行状況を掲載させていただきたい。

= 承認 =

以上